

一 般 質 問 通 告 表

平成27年第4回始良市議会定例会（11月27日（金） 午前10時開会）

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
1. 吉村 賢一	1. 始良市公共施設の杭打ちデータについて	<p>昨今旭化成建材によるデータ改ざんは居住する人や施設を利用する人に多くの不安と混乱を与えている。</p> <p>(1) 始良市は現在公共施設の見直し調査を行っているが、基礎工事がどのようになっているか、安定基盤に達しているかの判定はどのようにしているか。</p> <p>(2) 最近の施設として消防署や松原小学校等の杭打ちデータはどんなであったか。</p> <p>(3) その他の公共施設として、市営住宅等の建築基礎データはどのようになっているか。</p> <p>(4) N値は建築基準法に定められていると思うが、市はどのような基準値を採用しているか。</p> <p>(5) 建物の基礎工事に関して今後どんなことに考えているか、具体的な管理計画を示せ。</p>	市 長 教育委員長
	2. ホテル誘致の進捗について	<p>市は学生合宿や企業会議などの利用を考えて2年前、ホテル誘致条例をつくり会議室を備えたホテルの誘致を目指している。</p> <p>(1) 市内訪問客のうち宿泊客の年間員数は幾らであり、どの程度が市外に宿泊しているか。</p> <p>(2) ホテル誘致条例に関連して過去の相談実績や進捗状況を示せ。</p> <p>(3) 今の時点で、成約に至る話はないのか。</p> <p>(4) 以前、専門職を置いて企業誘致・ホテル誘致を重点に動ける体制を考</p>	市 長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>3. 参加戸数少数自治会の統合について</p>	<p>えるべきと提案した。回答は「現体制で十分対応できる」ということであつたが、今もその考えか。</p> <p>(5) もしうまくいってないとするれば、その原因は何であり、今後はどう進めるつもりか。</p> <p>支援員も決まり校区コミュニティ活動が緩やかに軌道に乗りつつある。また、自治会の戸数規模は150から200程度が望ましいと思うが、どのような状況か。</p> <p>(1) 自治連と校区コミュニティの棲み分けはどのようになっているか。</p> <p>(2) 参加戸数の少ない自治会や公民館をもたない自治会はいくつあるか。</p> <p>(3) 最近の合併事例はいくつあり、その理由はどんなものであつたか。</p> <p>(4) 行政としてはその指導についてはどこまで行うか。また、目標数値などは定めているか。</p>	市 長
2. 堂森 忠夫	1. 道路新設改良等について	<p>(1) 想定外等の災害が発生した場合、道路は避難車が同時に動き出し混乱の渦となり、パニック状態を回避できない状態に陥るのではないかと察する。この課題解決策として、避難道路の整備計画を推進し、地域住民の協力と理解を得た道路の拡幅改良工事を図れないか。</p> <p>(2) 中部地域横断道路の整備計画が市民に浸透しつつある。この道路が完成すると、新たな居住空間や人口増に期待と希望が膨らむ地域づくりが展開できると思う。事業実施年度</p>	市 長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
		<p>を明確にして事業推進に努め、早期実現を図れないか。</p> <p>(3) 近年になり市道西別府線沿い近くの水田地帯に、住宅開発が多く見られるようになった。市民は便利で安価な土地を求めるのが世の習いで当然である。今後はさらに開発が進むと予想されるが、その開発周辺道路の拡幅改良を図れないか。</p> <p>(4) 加治木温泉病院から市道西別府線までの口ノ町・湯之谷線は、朝晩の交通量が多い道路である。将来、道路沿いの水田は、住宅の開発地として推進してよい道路沿線である。この道路の拡幅と歩道設置の整備計画を図れないか。</p> <p>(5) 加治木の金山橋周辺道路は良く整備されたが、橋を渡り城地区へ直進すると、直線部分の道路表面は、アスファルト下地の砂利が剥き出し状態だとの苦情がある。</p> <p>表参道と裏参道の差に開きが大きすぎるのではないか。この市民苦情を、どのように受け止めているか。</p> <p>表面をアスファルト施工するとなると、直接施工業者は何社ぐらいあるのか。</p> <p>このような苦情のアスファルト施工を年に何件ほど実施計画を図っているのか。</p> <p>(6) 市道西別府線の曲田口から菖蒲谷入口までの道路表面はでこぼこが目立ち、地域から危険性が指摘されている。アスファルト表面を一部補修ではなく、全面的な施工が必要な状態だが、なぜ施工できないのか。</p> <p>実施計画を明確にし、安心安全な道路管理に努められないか。</p>	

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	2. 高台移転について	<p>今後は、地球温暖化が間違いなく起こると予測されている。その影響は海面が上昇し、0メートル地帯は海面下に沈む可能性があると言われている。そのような未曾有の災害等を考慮すると、高台移転移住を推進する事により、海拔の低い町場の人口密度を解消し、避難等が緩和されるのではないか。高台移転の長期計画の下に、移転先の開発団地の推進を図れないか問う。</p>	市 長
3. 竹下日出志	<p>1. 地域で取組む「ひきこもり」の社会復帰支援について</p> <p>2. 胃がんの早期発見・治療に向けた取り組みについて</p>	<p>現役世代の不就労者・ひきこもりの増加は、地域の活性化を妨げるだけでなく、高齢家庭の負担となっている。</p> <p>厚生労働省では、ひきこもりを「様々な要因の結果として、社会的参加を回避し、原則的には6か月以上にわたって概ね家庭にとどまり続けている状態と定義し、それが、約26万世帯（平成27年8月：厚労省）に上ると推計している。</p> <p>(1) 本市では、就労できずにひきこもっている実態を調査しているか。また、支援策はどのように考えているか。</p> <p>(2) 秋田県藤里町では、ひきこもりの実態調査を独自で行い、ひきこもり・不就労者が社会復帰する前段階で地域住民とともに地元へ貢献できるような仕組みや施設をつくり、就労支援につながっている。本市でも取り組む考えはないか。</p> <p>日本では、毎年約12万人が胃がんと診断され、約5万人が亡くなっている。2012年2月、胃がんの主な原</p>	<p>市 長 教育委員長</p> <p>市 長 教育委員長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>3. 高齢者の交通事故対策について</p>	<p>因とされるヘリコバクター・ピロリ（ピロリ菌）除菌の保険適用範囲が、慢性胃炎まで拡大した。保険適用後の1年で、約130万件の除菌が行われ、胃がんの早期発見・治療に結びついている。</p> <p>(1) 本市のがん検診にピロリ菌の検査を追加する考えはないか。</p> <p>(2) ピロリ菌検査のための無料クーポン券を発行する考えはないか。</p> <p>(3) 大阪府高槻市は、市内在住の中学2年生を対象とした「ピロリ菌対策事業」をスタートさせた。本市でも実施する考えはないか。</p> <p>社会全体の高齢化に伴い、交通事故死者のうち特に高齢者の占める割合が高くなっており、高齢者の交通安全対策を推進する必要がある。</p> <p>運転免許証を自主返納された認知症の人と家族、交通弱者への交通手段の確保をどのように考えているか。</p>	市 長
4. 萩原 哲郎	<p>1. 鍋倉～触田線とスマートインターチェンジ（28年度工事予定）周辺の歩道対策について</p>	<p>九州自動車道桜島サービスエリアにETC搭載車両専用の（仮称）桜島スマートインターチェンジ上下線、それぞれ入口と出口の設置工事が、平成28年度から始まり、30年度供用開始の予定である。</p> <p>スマートインターチェンジ設置について、平成20年3月から7年間、色々な問題をクリアしながら、設置に向けて質問してきたが、結果が実りつつある。</p> <p>また、来年春に、イオンタウン始良が開業する予定であり、かなりの交通</p>	市 長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>2. 鳥獣被害対策とサボランドパーク始良について</p>	<p>渋滞が予想される。</p> <p>(1) 今後のスマートインターチェンジ建設工事の工程・内容を示せ。</p> <p>(2) 今回工事に入る上り車線は、通学道路と一般道が交差し、危険性が増すと思うが、歩道・横断歩道の設置は安全性を考慮しているか。</p> <p>(3) スマートインターチェンジとイオンタウン始良が開業すると、鍋倉～触田線全線の安全性を考慮すれば、歩道整備が必要と思うが考えを示せ。</p> <p>(4) 鍋倉～触田線は、歩道もなく高速道路の反対側は家が建ち、スペースがない。高速側にスペースを確保してもらうように西日本高速道路(株)にお願いし、歩道を設置する考えはないか。</p> <p>(5) スマートインターチェンジ設置で市長は、地域にとっての経済効果をどのように捉えるか。</p> <p>始良ニュータウンは今までに、イノシシ・タヌキ・アナグマに悩まされてきたが、近年サルがたまに出没し、畑の野菜や果実を荒らしている。</p> <p>子どもたち等に被害は出ていないが、サルは場合によっては老人や子どもに危害を加えることもある危険な動物である。</p> <p>(1) サルの群れは確認されておらず、少数と思うが、人的被害が出ないうちに何らかの対策が必要と思うが、考えを示せ。</p> <p>(2) 始良地区捕獲隊が触田地区にわなを設置し、平成24年7月から10月までにイノシシ11頭を捕獲</p>	<p>市 長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>3. 献血協力の呼びかけについて</p>	<p>した。その後3年経過している。</p> <p>また最近、サボールランドパーク始良西側に、夜中にイノシシが出没し、土手を荒らし、側溝がふさがれている。イノシシ駆除と側溝整備を求む。</p> <p>(3) サボールランドパーク始良の歩道に、夜中にアナグマが出没し、アナグマの糞があちこちに見られる。</p> <p>ウォーキングやジョギングを楽しまれている方々に不快な思いを与えている。アナグマの駆除対策が必要だと思うがどうか。</p> <p>(4) サボールランドパーク始良の階段等の腐食が進んでいるが、ペンキを塗る等の処置等はしないのか。</p> <p>輸血用献血は、日本全国で不足している。鹿児島県赤十字血液センターは、65歳までの健康な方の献血をお願いしているが、満足できる量が確保できないと聞く。</p> <p>(1) 年に3～4回血液センターが献血に来ると思うが、平成25年・26年度の始良市役所、加治木・蒲生支所の献血状況を示せ。</p> <p>(2) 始良市役所、加治木・蒲生支所に献血運動の呼びかけを行い、鹿児島県赤十字血液センターに献血の協力はできないか。</p> <p>また、市民や支所の職員に今までに、どのような方法で献血の協力の呼びかけを行ってきたか。</p>	<p>市 長</p>
<p>5. 渡邊 理慧</p>	<p>1. 18歳選挙権について</p>	<p>選挙権年齢を現在の20歳以上から18歳以上に引き下げる改正公職選挙法が6月17日に成立した。施行日は</p>	<p>市 長 選挙管理委員 員長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>2. 子どもたちの自然学習について</p>	<p>1年後と定められており、来年夏の参院選から適用される。18歳、19歳の約240万人が新たに有権者となり、20歳未満には認められていなかった投票呼びかけなどの選挙運動も18歳から可能となる。</p> <p>(1) 文部科学省の通知では、高校生の政治活動について学校外だけで認められており、教室で放課後に政治にかかわる話をしたりすることも規制の対象となる。憲法16条、21条によって、政治活動の自由は保障されているが、高校生だけ制限がかかることをどのように考えるか。</p> <p>(2) 全国で若者が政治に関心を寄せていることがメディア等で報道されているが、始良市では若者が積極的に政治参加するための取組みをどのように考えているか。</p> <p>(3) 選挙の投票率低下を防ぐ対策を考えているか。</p> <p>子どもたちの好奇心や探究心を育むために、自然と触れ合うことはとても効果的であるとされている。しかし、環境の変化により、子どもたちが自然に触れる機会が減ってきている。</p> <p>(1) 野菜を育てて食べたり、植物がきれいな花を咲かせたりと、自然を感じることで、自然の恩恵を受けながら共存していることを学ぶと思うが、始良市では農業学習や自然学習などの取組みはどのように行われているか。</p> <p>(2) 子どもたちだけでなく大人も一緒に、自然に対する興味や意識を高めるために、公園の木に樹名板の設</p>	<p>市 長 教 育 長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>3. 高齢者の交通事故防止について</p>	<p>置ができないか。</p> <p>認知症や判断力の低下した高齢者の危険運転による交通事故が多発している。高齢者には、運転免許証の自主返納が呼びかけられているが、買い物や病院通いのため、どうしても手放せない人もいる。特に中山間地域は交通網が少ない。</p> <p>鹿児島県警から通知されている、高齢者運転免許自主返納支援制度では、平成25年の4月1日から県内外の居住を問わず、鹿児島市営バス、市電、JR九州バス、南国交通バスの料金を半額としている。</p> <p>高齢者の事故防止と社会参加の促進を図る為に始良市もコミュニティバスの割引やタクシーチケットの配布などを行う考えはないか。</p>	<p>市 長</p>